

5

にんしんとうによびょう

妊娠糖尿病

(Гестаційний діабет)



妊娠中に血糖値がたかくなって、糖尿病にちかい状態と判断されたとき、妊娠糖尿病(GDM)と診断されます。ママの体は、赤ちゃんに糖を送ろうとしすぎて、血糖が高い状態になってしまいます。そのため、妊娠中に血糖をコントロールしないと赤ちゃんが大きくなりすぎたり、また、赤ちゃんが生まれるとすぐに血糖が低くなって、発作をおこしたりします。

もともと糖尿病ではなかった人が、妊娠して血糖値が基準値をこえた場合と、妊娠24週ごろのスクリーニング検査で異常値をしめして、75gOGTT という検査でも血糖値が基準値をこえた場合に、GDM と診断されます。75gOGTT の方法は、朝から何もたべずに病院にいき、ブドウ糖をのんで検査をします。のむ前、のんで1時間後、2時間後と、3回採血をされます。

Когда под час вагітності підвищується рівень цукру в крові та стан наближається до діабетного, діагностується гестаційний діабет (ГСД). Якщо не слідкувати за рівнем цукру в крові, плід отримуватиме занадто багато цукру та може вирости занадто великим, або відразу після народження дитини у жінки можуть виникнути судоми через зниження цукру в крові.

Якщо у жінки, яка не хворіла на цукровий діабет до вагітності, рівень глюкози в крові перевищує стандартне значення, обстеження на 24 му тижні вагітності показує аномальні результати та глюкозотолерантний тест показує підвищений рівень цукру, то їй діагностують гестаційний діабет. Глюкозотолерантний тест проводять у лікарні зранку на голодний шлунок за допомогою вживання глюкози та забору крові. Забор крові роблять 3 рази: до прийому глюкози, через 1 годину після прийому та через 2 години після прийому.



Q: 体の中で何がおこるの?

A: 妊娠糖尿病は自分で感じる症状があまりありません。しかし、ママの血糖がたかくなると赤ちゃんも血糖がたかくなり、いろいろな悪い影響が出ます。

- ママへの影響: 妊娠高血圧症候群 (HDP)、羊水がふえることにともなう切迫早産、産後の糖尿病など
- 赤ちゃんへの影響: 流産、先天奇形、巨大児、心臓への悪影響、生まれたあとの低血糖、黄疸、死亡など

Q: どんな治療をするの?

A: 妊娠期間を通して、血糖が高くなるようにします。はじめは、食事を4~6回にわけて食べるようにしますが、それでも血糖がたかい場合は、注射でインスリンを使用します。とくに妊娠後半期は、体重が1週間で300g以上ふえないようにしましょう。多くの場合、出産あとにママの血糖は正常にもどりますが、将来的に糖尿病になりやすかったり、そのまま糖尿病になってしまうこともあります。

Q: 何が起こりますか?

A: 妊娠糖尿病で糖尿病になる人は、妊娠中に血糖が高くなるため、赤ちゃんの血糖も高くなり、いろいろな悪い影響が出ます。

- ママへの影響: 妊娠高血圧症候群 (HDP)、羊水がふえることにともなう切迫早産、産後の糖尿病など
- 赤ちゃんへの影響: 流産、先天奇形、巨大児、心臓への悪影響、生まれたあとの低血糖、黄疸、死亡など

Q: 何をするの?

A: 妊娠期間を通して、血糖が高くなるようにします。はじめは、食事を4~6回にわけて食べるようにしますが、それでも血糖がたかい場合は、注射でインスリンを使用します。とくに妊娠後半期は、体重が1週間で300g以上ふえないようにしましょう。多くの場合、出産あとにママの血糖は正常にもどりますが、将来的に糖尿病になりやすかったり、そのまま糖尿病になってしまうこともあります。